

優秀賞

GUNMA HOUSING
AWARD 2021

前橋の平屋

【まえばしのひらや】

設計者／TDLアーキテクツ一級建築士事務所 施工者／上栢建設株式会社



設計主旨 CONCEPT

敷地は、前橋市でも西寄りの赤城山の山麓の郊外住宅地に位置し、周囲は住宅が建ち並んでいますが、畑も多く残されており、ゆとりのある良好な住環境です。西側の道路に対して間口10m奥行き40m程度となっており、コの字案や正形の平屋案など様々な配置を検討しましたが、全居室を南面に配置し、土地の形状に合わせた横長の平屋としました。

南に面した居室は冬期は有効に日射熱を取り込み、暖房負荷を軽減すると共に、夏季の厳しい日射に対しては、1365mmと大きく張り出した軒によって遮蔽する計画としています。

冬は北風が大変強い場所のため、南向きの玄関とし、北面の窓は採光と通風が確保できる程度としています。また、立地上、1年を通して東西に風が流れるため、履行した平面計画により、家全体に積極的に風を取り込む窓配置を実現しています。

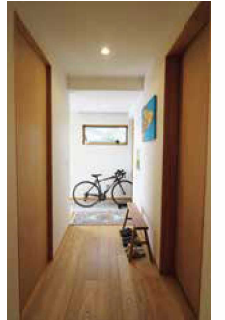
道路付きと周辺環境を考慮して、細長い平面の中心にリビング・ダイニングを配し、道路から遠い静かな位置に寝室を配置しました。

2つある中廊下にはそれぞれ突き当たり窓を設け、廊下幅も120cmと135cmと広く計画することで、暗くならない中廊下が明るい生活空間の一部となり、洗濯物を畳むスペースや子供達の遊び場になったり、廊下がちょっとしたフリースペースと利用さ

れ、暮らしのゆとりを受け止める場となっています。

断面計画は、玄関から寝室まで単調にならないよう場所ごとに天井高を変え、空間体験に変化を与えています。天井高が一番高いところはリビングダイニングで3.6mあり、一番低い天井高は寝室の2.15mの部分です。天井高の変化はそのまま外観にも現れ、平家の大屋根を分節することで住宅地に適切なスケール感をもたらします。

外観は、一番デザイン性を意識しています。屋根材をシルバーのガルバリウム、外壁をウォームグレーの左官材（ジョリパット）としました。シルバーの屋根は空の色を吸収することで、天気や時間によって家全体の印象が変化します。ボリュームの分節と軒の深い屋根によって、人に寄り添うスケール感を持ちつつ、赤城山麓の雄大な景観に馴染むおらかな外観を実現しました。



平面図



講評 REVIEW

変化のある屋根の連なりと、左官壁・本壁のコントラストがバランス良く整っていて佇まいが優しく美しい住宅です。恵まれた敷地を最大限生かすことに成功した平屋であり、バリアフリー性や将来の住み方の変化にも対応可能なように思われ、西側道路からグラデーションの如くパブリック→プライベートと空間深度が変わってゆく様は小気味良さを感じます。また、間取りと内装仕上の既視感や動線の長さ、軒樋が少なく木板張り外壁の経年劣化を心配する声も聞かれましたが、開放的でありながら夏冬を問わない熱負荷に対する工夫がなされ、更に日当たり良好な堅実さは、現実の生活感を大切にプランニングとコスト面でも評価に値する作品でした。

